＜種まき　５・６年生＞

４月、５・６年生が，支援員の豊子さんのご自宅で種まき体験を行いました。種もみを温度調整しながら発芽させる方法を見学し、発芽した種もみを触らせて頂きました。種もみに小さな白い芽が出ているのを見つけ、生命力を感じました。その後、機械を使った種まきを体験させて頂きました。バランスよく肥料や水が行き渡り，無駄なく効率よく作業ができることに驚きながら活動することができました。５年生はうるち米、６年生はもち米の種もみをまきました。

＜苗の観察・田植え　５・６年生＞

５月、ビニールハウスで温度や水管理をしながら手間暇かけて育てている様子を観察させて頂きました。小さかった種もみが立派な苗に生長していました。６月、田植えを行いました。昔ながらの手作業での田植えの仕方を教わりました。３～４本ずつ真っ直ぐ植えることが、今後の米の生長に深く関わることを知り、丁寧に作業しなければならないことを学びました。

＜苗の生長観察・稲刈り　５・６年生＞

９月、苗の生長の様子を観察に出かけました。苗の株が増え、背丈ものび稲穂が出来ている姿に感動すると同時に、草も生長していることに気づき、除草活動も行いました。管理の大変さも目の当たりにしました。

１０月、稲刈りを行いました。手作業での稲刈り体験を通して、重労働であることを実感し、収穫の喜びと共にお米の一粒一粒を大切にし、残さずに食べようとする気持ちになりました。

＜大豆の種まき・苗植え　３年生＞

校地内に菜園を開拓し、５月、支援員さんのご指導のもと、大豆の種を一人一人ポットにまきました。６月、大きく育った苗を畑に植え替えました。植え方のコツを教わりながら、丁寧に作業しました。一人一人自分の苗に愛情を持ちながら植えることができました。３年生では、大豆から「ずんだ」や「きなこ」にして「だんご」につけて食べました。

＜カボチャの収穫＞

４年生はカボチャを育てました。鳥などの被害がないように支援員さんにお骨折り頂いたおかげで、今年は、たくさん収穫でき、一人ひとつずつ収穫することができました。収穫したカボチャで班ごとにいろいろな料理を作り食べました。自分たちの手で種まきや水やりをして育てたカボチャの味は最高でした。